

研究課題：軟骨無形成症における下腿延長術 創外固定器単独の延長と plate conversion の比較

1. 研究の目的

軟骨無形成症は四肢短縮型低身長を呈する骨系統疾患ですが、低身長によるADLの低下や整容面の問題があります。下肢を延長するために創外固定器を用いた下肢延長術が一般的ですが、創外固定器の装着期間が長く、近年当院では装着期間を短くするためにplate conversionを行っています。創外固定器単独の延長術とplate conversion併用の成績を比較した報告はありません。

本研究の目的は、軟骨無形成症に対する下腿延長術の二つの術式の成績を比較検討することです。

2. 研究の方法

2000年1月1日から2022年4月30日までに当院で軟骨無形成症に対し、創外固定器単独もしくはplate conversion併用で下腿延長術を施行された患者様が対象になります。両群10名ずつを予定しています。

3. 研究期間

2022年05月（倫理委員会で承認を得られた日）から2024年1月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、延長距離、延長日数、入院日数、合併症、成長ホルモンの治療歴有無、医療コストなどを調べます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：所属 整形外科 職 科長 氏名 平良勝章
研究分担者：所属 整形外科 職 医員 氏名 町田真理

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年9月30日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）